

Yoshihiro Kondo Piano Recital Beethoven & Chopin & Liszt

デビュー20周年を迎えた近藤嘉宏が、長年敬愛し演奏し続けてきた3人の作曲家、ベートーヴェン、ショパン、リストの名曲を取り上げ、記念演奏会を開催します。

ベートーヴェンの代表作として知られ最も人気の高いソナタを2曲、ショパンの叙情溢れるノクターンとドラマティックなバラード、そして誰もが耳にしたことのあるリストの名曲に加え、今回、新たなレパートリーとして、オペラを主題にした超絶技巧曲「ノルマ」の回想を取り上げます。難曲として知られる作品ですが、技巧のみならず近藤嘉宏ならではの美しい歌もご堪能ください。

近藤嘉宏 Yoshihiro Kondo (ピアノ)

桐朋学園大学を首席卒業。その後ミュンヘン国立音楽大学においてゲルハルト・オピツのものとでさらなる研鑽を積む。1987年日本音楽コンクール第2位。1992年ミュンヘン交響楽団との共演でデビュー、大成功をおさめる。1995年に国内デビュー、翌1996年にはCDデビューを果たし、一躍注目を集めた。以来日本を代表するピアニストとして第一線で活躍、Denon、Decca、Bellwood、Nami-Recordsなど数多くのレーベルから20タイトル以上のCD及びDVDを国内外でリリース、その内容はソロ、協奏曲、室内楽と多岐に渡る。

フェスティバルホール(大阪)における合計20回に及ぶリサイタル(1998~2008年)や1999年、ショパン没後150年を記念して全国各地で行ったツアーは驚異的な動員数と共に絶賛を博す。2001年、チョン・ミュンファン主宰「セブン・スターズ・ガラ・コンサート」に出演、チェコのジャン・ワンと白熱した演奏を繰り広げる。2005年にはデビュー10周年を記念しサントリーホールとザ・シンフォニーホール(大阪)でリサイタルを行い高い評価を受けるなど、着実にキャリアを積み重ねている。

2006年、ウイーン・ムジークフェライン・ブラームスザールにおいてリサイタル。2010年、プラハの音楽祭“International chamber music festival Euroart Praha”に招かれ、ショパンの協奏曲とシューマンのピアノ五重奏曲をマルティヌー弦楽四重奏団と共に演じ絶賛を博すなど、今後の国際的な活躍も大いに期待されている。

これまでにミュンヘン交響楽団、スーパーワールドオーケストラ、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、広島交響楽団をはじめとする、数多くの国内外のオーケストラに客演、ネーメ・ヤルヴィ、トーマス・ザンデルリンク、外山雄三、秋山和慶、広上淳一など多くのマエストロと共に演じ重ね、厚い信頼を得ている。

またプロデューサーにギタリストの鈴木大介を迎え、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲録音を2015年に完結。2013年にリリースされた後期ソナタを収録したアルバムでは、レコード芸術誌特選盤となり、深化した音楽性に高評価を得た。

またわが国を代表する弦楽四重奏団、クアルテット・エクセルシオと共に演じたCD「近藤嘉宏&クアルテット・エクセルシオ ブラームス&シューマンピアノ五重奏曲」(ナミレコードWWCC-7785)は音楽専門各誌で絶賛された。最新アルバムは「近藤嘉宏ショパン愛奏曲集」(2015年12月9日リリース/BZCS-3086)。2014年より和光市民文化センター・ミュージック・パートナーを務める。



<http://ameblo.jp/yoshihiro-kondo/>

AIR G AIR-G (FM北海道) のクラシック音楽入門ラジオ番組
<毎週日曜日 10:00~10:55放送>
DJ: 高川秀穂 HIDEKI TAKAYAMA
[mail] asakura@air-g.co.jp

デビュー20周年記念アルバム! 12月9日発売

究極のショパン名曲集! 世紀を超えて愛され続ける傑作の数々を華麗に鮮やかに奏でる!

「英雄ポロネーズ/幻想即興曲～近藤嘉宏ショパン愛奏曲集」

CD:BZCS-3086(ベルウッド・レコード)¥3,100(税込)

●ショパン:ポロネーズ第6番「英雄」/ノクターン第2番/ノクターン第20番「遺作」/幻想即興曲/舟歌/エチュード第3番「別れの曲」/エチュード第12番「革命」/ワルツ第3番「華麗なる円舞曲」/ワルツ第6番「小犬のワルツ」/ワルツ第7番/プレリュード第4番/プレリュード第7番/プレリュード第15番「雨だれ」/バラード第1番

